

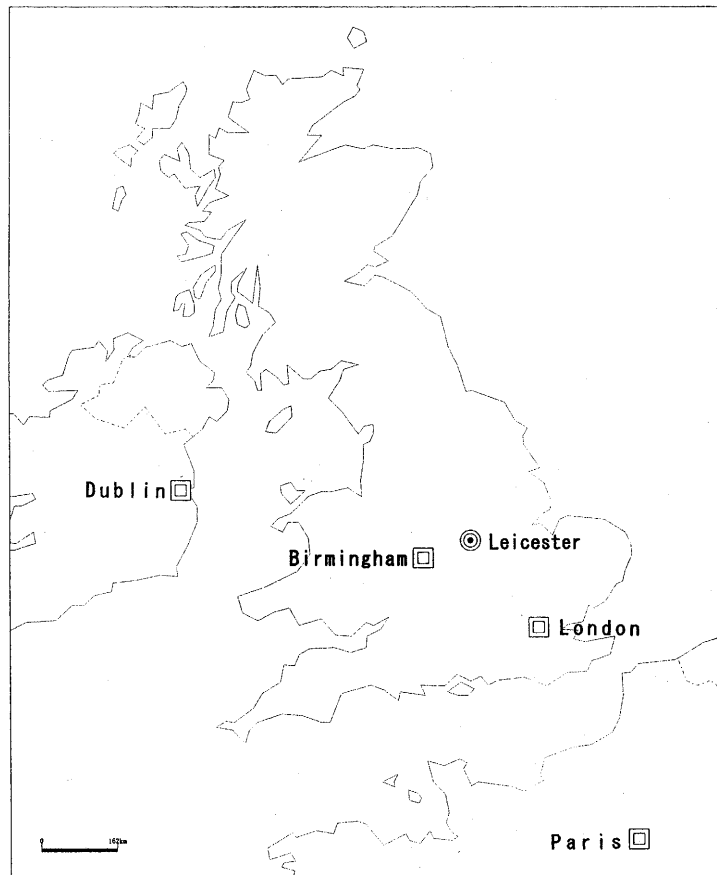
# 英国レスター大学における学部教育の特徴

## —地理学科を事例として—

平 篤 志

### I. はじめに

本稿は、連合王国（UK=United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland）中南部に位置するレスター市（第1図）に立地するレスター大学の学部教育システムの特徴を地理学科のカリキュラムを事例として説明するとともに、香川大学へのその応用可能性について検討することを目的とする。研究対象としてレスター市とレスター大学を選択した理由は、レスター市が高松市と同様に地方中心都市であり、人口規模がほぼ同じ（約30万人）であること、またレスター大学が香川大学と規模、学部構成の面である程度類似性があり、かつレスター大学が高等教育機関として連合王国において高い評価を得ていることにある。当該大学への訪問調査は、2004年2月初旬3日間にわたって行われた。訪問調査では、関係者へのインタビューを行うとともに、各種関連資料の収集に努めた。



第1図 イギリスにおけるレスターの位置

## II. レスター大学における学部教育システム：地理学科を事例として

### 1. 地理学科の概要

レスター大学地理学科は、教員24人、事務職員4人、技術職員7人をスタッフとして抱えており、連合王国において比較的規模の大きい地理学研究教育組織である。新入生のための各種パンフレットや、新入生、在校生、そして広く一般に開かれたウェブサイトの内容も充実しており、内外への情報の発信が十分に行われている。以下詳しくみるように、そのカリキュラムは、地理学の専門性を基礎として、かつ他学科との連携のもと、学生のニーズに応えるよう多様なコースから編成されており、香川大学への応用の可能性は高いと判断される。

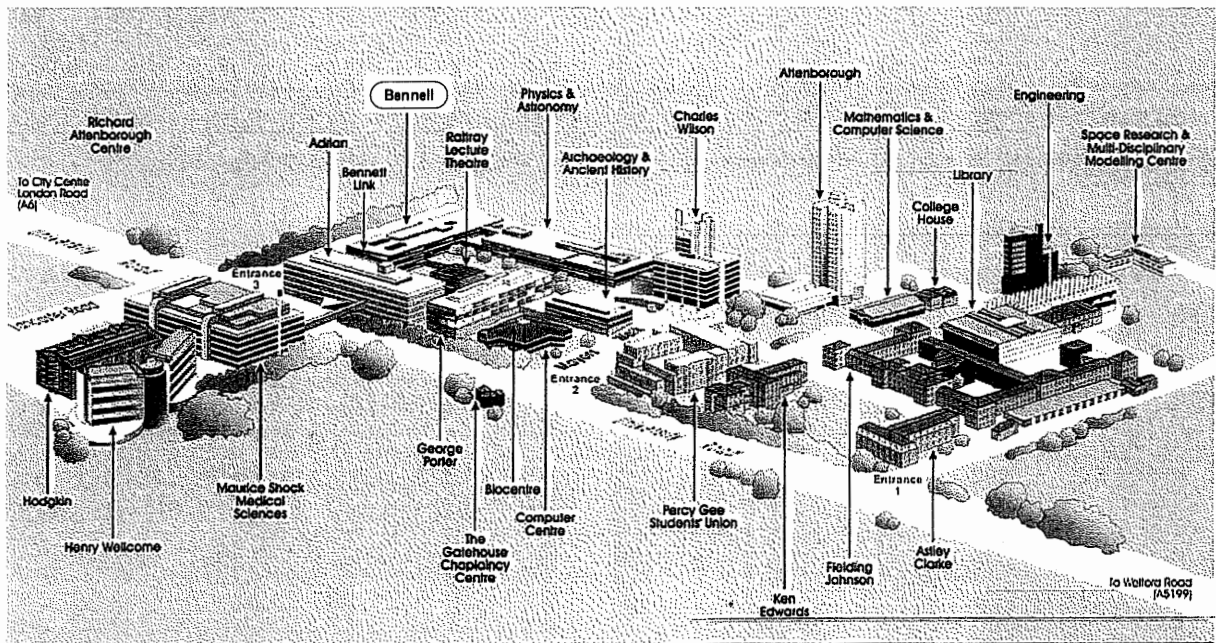
### 2. 地理学科の特色

#### 1) 現代的でフレキシブルなプログラムの提供

レスター大学地理学科は、今日の就職市場で役立つさまざまな学位取得コースを用意している。そのカリキュラム構成は、基礎的な地理学的概念と、学生が将来社会で要求される知識・技術を提供するとともに、学生個人個人のニーズを満たすよう配慮されている。

#### 2) 多様な専門家スタッフの存在

地理学科は、ビクトリアパークを見下ろすベネットビル内にあり（第2図）、地質学科とその空間を共有している。学科内には、コンピューティング、地理情報科学(GIS)、そして自然地理学のための多様で専門的な設備の備わった実験・実習室がある。また講義・演習室には、最新のオーディオビジュアル機器が備えられている。



第2図 レスター大学メインキャンパス

### 3) 最新の国際的な研究結果に基づく教育

地理学科の教育システムは、教員スタッフの国際的な研究活動と密接に連動しており、現代的な教育・学習環境を提供するよう構築されている。教育研究領域は、自然地理学と人文地理学の両者にまたがり、さらに最新の技術的進歩に基づいた地理情報科学と衛星リモートセンシングをも網羅している。

### 4) 外国での学習機会の提供

地理学科教育の国際性は、外国実地調査実習（フィールドワーク）を通して、また選抜された学生に外国の大学で2年次の全部または一部を過ごすことを可能にするソクラテスプログラムへの参加を通して、十二分に確保されている。国内および外国でのフィールドワークは、レスター大学地理学専攻のすべての学位コースにおいて必修となっている。教育モジュール（カリキュラム）の多くも、国際的な視点が重視されている。

### 5) 成功へと導く懇切丁寧な指導

レスター大学での全在学期間を通じて、学生は専門的、個人的支援サービスのネットワークを利用できる。また、地理学に興味のある人々のために学術的、社会的行事を組織・運営する地理学協会がある。

### 6) さまざまな職業への道を開くレスター大学の地理学学位

地理学は、世界の諸事象にかかわる学問領域の中で重要な役割を果たしており、レスター大学地理学科は、現代社会の多様な資源の管理に関わるポジションに有能な人材を送り出している。最近の卒業生は、国際金融、地方行政、環境保護、情報技術、交通、そして教育といったさまざまな分野において活躍している。

## 3. 各種学位コース

レスター大学地理学科では、他学科との連携のもと、以下のような多様な学位コースを用意している（第1表）。

- 文学士（地理学専攻） Geography BA
- 理学士（地理学専攻） Geography BSc
- 文学士（社会科学）（地理学専攻） Geography BA Social Sciences
- 文学士（地理学・経済社会史専攻） Geography and Economic and Social History BA
- 理学士（地理学・考古学専攻） Geography and Archaeology BSc
- 理学士（地理学・地質学専攻） Geography and Geology BSc
- 文学士（総合研究） Combined Studies BA

第1表 レスター大学地理学科の学位（学士）コース一覧

## Degree courses

Geography BA L800 BA/Ge	Designed for those who wish to specialise predominantly in Human Geography, but are keen to retain an awareness of the physical environment.
Geography BSc F800 BSc/Ge	Intended for those who wish to specialise predominantly in Physical Geography, but ensures that an awareness of related human geographical issues is maintained.
Geography BA Social Sciences L820 BA/Ge	Caters for those who have a wish to specialise in Human Geography and have an interest in learning about social science subjects such as Economics, Economic and Social History, Politics or Sociology.
Geography and Economic and Social History BA LV83 BA/GeESH	Designed to draw together the common interrelated themes of Human Geography and Economic and Social History.
Geography and Archaeology BSc FF48 BSc/GArch	Aims to foster the skills required for the observation, analysis and evaluation of the relationships that have existed in the past, and exist today, between people and their environment.
Geography and Geology BSc FF68 BSc/GeGL	Intended for those with mutual interests in the closely related subjects of Physical Geography and Geology.
Combined Studies BA Y300 BA/CombA	Designed for those who prefer the flexibility of combining Geography with other subjects within the Arts and Social Sciences faculties.

(レスター大学地理学科資料による)

## 4. コースモジュール

地理学科の教育プログラムでは、各学生が目指す学位の種類に応じて、1年次から3年次にかけて受講すべき科目群が指定されている。具体的には、各学位コースにおいて、コアモジュールと呼ばれる必修科目群が各学年に配当されており、各学生はその必修科目群と選択科目群に配当された授業を履修することになる。具体的には、以下のような科目が用意されている。

## 1年次

「人間世界の差違」、「自然地理学概論」、「地理情報分析」など6科目の中から選択。

## 2年次

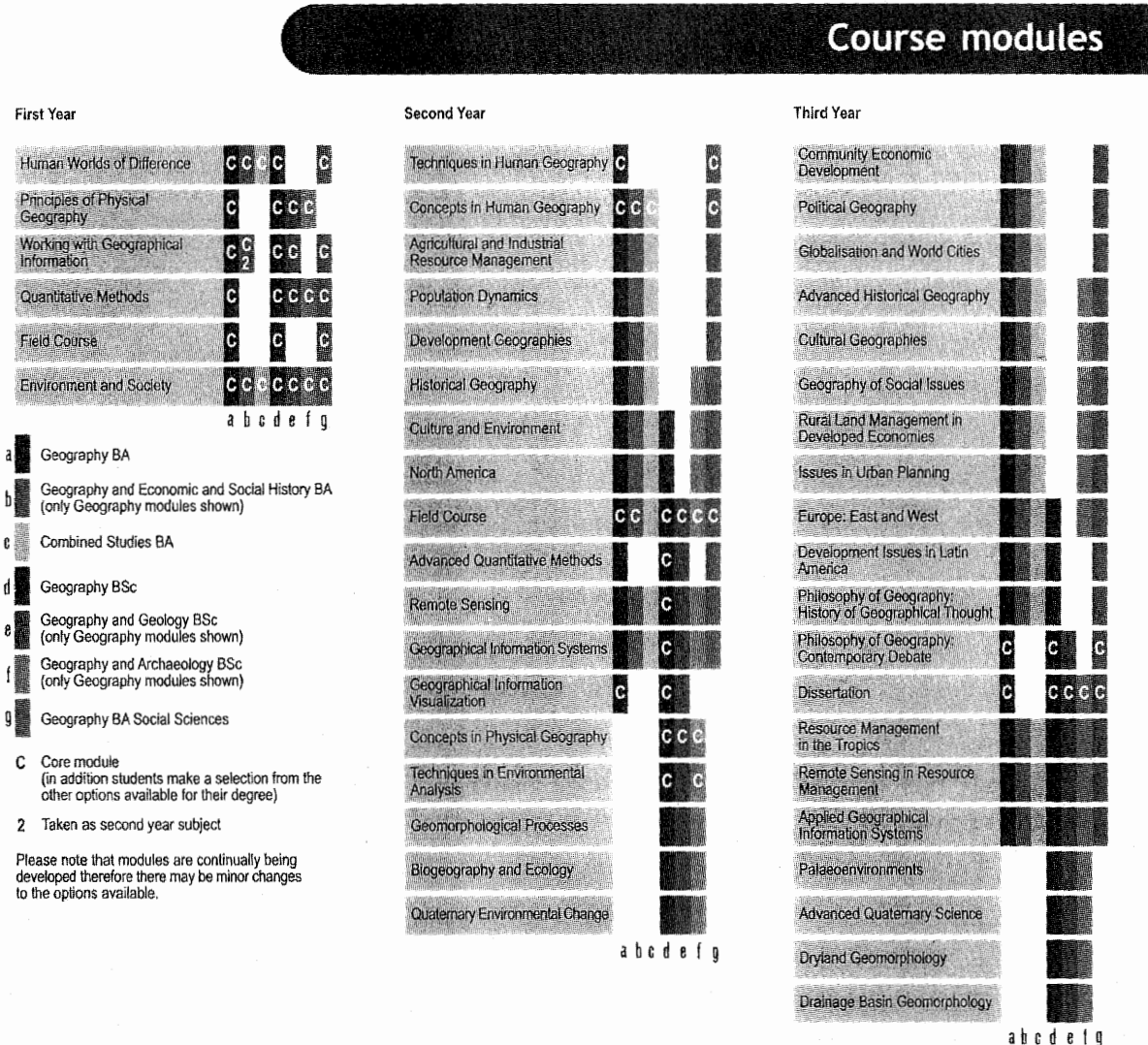
「人文地理学方法論」、「文化と環境」、「環境分析の技法」、「地形的変遷」など18科目の中から選択。

## 3年次

「社会問題の地理学」、「グローバリゼーションと世界都市」、「資源管理におけるリモートセンシング」、「応用第四紀学」など20科目の中から選択。

## 5. 学位コースの事例

以下、地理学科が提供している学位コースの中から、そのいくつかについて具体的に説明する（第3図）。



第3図 レスター大学地理学科の学部コースモジュール  
 (レスター大学地理学科資料による)

### 1) 人文地理学専攻 (Geography BA)

この専攻コースは、人文系教員集団(Faculty of Arts)によって運営されている。自然環境の理解とともに、人文地理学を深く学ぼうとする学生に対して設けられているコースである。学年ごとの学習の流れは以下のとおりである。

1年次：人文地理学専攻コースの学生は、自然地理学専攻コースの学生と共通の授業群を履修する。地球上のいくつかの広範囲にわたる地域について学習するとともに、情報技術と分析、地図学的・計量的情報の解釈と表現に関する基礎的技能の獲得を目指す。また、連合王国の人文、自然地

理を探究する際に必要となる研究実践力を養うため野外実習を行う。第1学期では、地理学の四つのモジュールと関連分野の一つのモジュールを履修し、(講義、実習、チュートリアル、個別自主学習の組み合わせからなる)モジュールごとに75時間を費やすことが求められる。

2年次：学生自身の興味関心に応じて、人文地理学、環境トピック、地理的技法に関係するモジュールから選択する。同時に、「人文地理学の概念」と「人文地理学の技法」に関するコアモジュールを履修する。野外調査実習は、海外での1週間にわたる現地調査を含んでおり、現地調査実施能力の向上が図られる。2年次に終わりには、卒業研究へとつながる個人研究を行う。これによって、学生が興味関心をもつ事象を深く考察し、2年次を通して修得された地理学的概念と研究法の両者を実際に応用することが期待される。

3年次：この最終学年時には、人文地理学の全領域にわたる多様な選択肢が用意されている。同領域において活発に研究を行っている教員スタッフが、これらの授業群を教えるとともに、学生個人個人が興味関心をもつ主題に関する領域の理解をさらに深めることに重点が置かれている。同時に、ある種の環境的事象を扱う、あるいはある種の地理的研究手法の関する応用的訓練を行うモジュールを選択することも可能である。また、現在の人文地理学と環境研究の課題に関係するいくつかのトピックについて議論する地理思想演習コアモジュールを履修することになる。

## 2) 地理学および経済・社会史学専攻 (Geography and Economic and Social History BA)

社会科学部内に位置づけられるこの学位コースは、人文地理学と「差違に関する歴史学」の学習を合わせたものからなり、地理学科と経済・社会史学科の両者に等しくプログラムの基礎が置かれている。「農村の変容」、「産業の発達」、「発展途上国の本質」といった授業は、二つの学問領域にまたがる学習内容の若干の例である。中心となるコアコースでは、計画的な課題の遂行が重要視されるが、例に示したような両学問領域の全体にわたる多様な選択可能な授業群が存在する。第1年次には、「差違の人間世界」、「環境と社会」、「新しいヨーロッパに向かって」というテーマについて学習する。同時に、他にもう一つの社会科学科目を履修する。第2年次には、人文地理学の概念と方法論に関するコアモジュールが配当されている。また、海外での1週間にわたる現地調査を含むフィールドワークを行う。第3年次には、両学問領域から選択した専攻分野についてを深く学ぶことになる。

## 3) 学際領域専攻 (地理学+2分野)

学際領域専攻は、文学部において最も長期にわたって行われ、人気のある学位コースの一つである。その理由は、多様な学際的主題の提供に関する大学側の周到な準備にある。専攻分野を一つもつ学生とともに、同じ教室で同じように深く三つの分野を学習する。唯一の違いは、各々の主題でより少ないモジュールを履修することである。地理学とともに履修可能な分野は、考古学、経済学、フランス研究、そして歴史学である。

## 5. 教育と学習

地理学専攻学生は、さまざまな教育法から学修上の利益を受けることができる。そのさまざまな教育法とは、講義、チュートリアル、演習、実験室での実習、ビデオとコンピュータ学習環境である。

以下、その各々について説明する。

### 1) 講 義

講義は、大学教育のための基礎的な枠組みを提供し、コースモジュールのコアとなる内容を教授するように設計されている。しかしながら、授業方式自体は、スライドと板書を交えた伝統的な講義から、ソフトウェアとインターネットを使用した授業まで多岐にわたる。

### 2) チュートリアルと演習

チュートリアルと演習は、講義で教えられた主要概念の理解を深めるとともに、学習上の多様な技能（たとえばディベート、チームワーク、口頭発表、レポート作成）を向上させる場となる。

### 3) 実践的授業

実践的な研修会と実験実習は、多くのモジュールにおいて重要な部分を構成する。これらの授業では、理論を現実世界に応用し、それが土壌のサンプルであれ、スプレッドシートであれ、学科の設備をどう使い、データをどのように収集し分析すればよいか、研究遂行の実際について学ぶ。

### 4) 情報技術

コンピュータを基礎とした学習は、ほとんどの学位コースに組み込まれている。大学内および学科内には、さまざまなマルチメディア、インターネット関連の設備がある。各学生は、レスター大学入学時に、メールアドレスとコンピュータアカウントを与えられ、学習、研究、コミュニケーション、発表のためにこれらの施設を十二分に利用できるよう指導を受けることになる。

### 5) 評 価

科目ごとの評価は、試験とコースワークを総合して行われる。後者には、レポート、実験室でのプロジェクトや発表を含む。

## 6. 学生支援

学生支援のスタッフとして、以下のような人々がいる。

### 1) スタッフ

地理学科には、24人の教員（うち教授6人）、学部の上級コースを教える数人を含む11人の支援スタッフ、そして3人の研究員がいる。教育スタッフは、全員が「オープン・ドア」方針に基づき、多忙時を除いて学生の質問に随時答えられるようになっている。学科事務室は、学生が履修コースやスタッフについて気軽に尋ねられる場を提供する。大学院生は、多くの実践的授業で実習の手助けをする。つまり、学生を支援する多くの経験ある人々が常に待機している状態にある。

### 2) アカデミック・チューター

各学年のはじめに各学生には、学習を進めようとするコースモジュールに基づいて、1年を通じ

たチュートリアル・プログラムの作成に責任をもつ、1人のアカデミック・チューターがあてがわれる。チューターは、それぞれのチューター集団において、各学生の学習の進捗状況を注視する責任をもつとともに、学生の就職や大学院への申請の手助けをする。

### 3) パーソナル・チューター

大学入学時に各学生は、3年の在学期間にわたるパーソナル・チューターを1人あてがわれる。このチューターは、在学期間を通して担当学生の秘密を守るアドバイザーであり、必要に応じて、特に健康面や、個人的、経済的問題が生じたときに、アドバイスをしたり、支援をしたりする。

### 4) スタッフ・学生委員会

学生は、学科運営において重要な役割を果たす。スタッフ・学生委員会は、学生が学科や大学側に設備や教育の全体的な状態について批判的なフィードバックをする価値のある場を提供する。

### 5) 地理学協会

レスター大学地理学科は、学生によって運営されている活発な地理学協会をもつ数少ない大学地理学科の一つである。当協会は、毎年、日帰り旅行や外部での公開講座、インフォーマルな懇談会を含む行事全体を運営しており、学生とスタッフがともに参加する2月の年次舞踏会をはじめ、さまざまな社会的活動を提供している。当協会はまた、大学内のさまざまなスポーツリーグにチームを送り込んでいる。

## 7. 就 職

地理的情報の分析は、現代のグローバルな市場を把握する際の重要な方法の一つであり、この種の情報の扱い方を熟知している人材は企業経営者から強く求められている。レスター大学において地理学の学位を取得することは、今日の競争の激しい就職市場でうち勝つための十分な技能的基礎が身に着けられたことと、地理的分析能力に習熟したことを意味する。地理学の学位を携えてレスター大学を卒業するとき、多様な就職の場が待っていると見えよう。就職に関するより詳しい情報については、レスター大学の就職サービスセンター(Careers Service)から入手可能である。

## Ⅲ. 香川大学（教育学部人間発達環境課程）への応用の可能性

上記で紹介したレスター大学地理学科の教育システムは、香川大学教育学部人間発達環境課程へ応用すべき点をいくつかもっていると考えられる。最後に、この点に関して考察する。

まず専攻については、レスター大学では、上記で明らかになったように、それぞれに独自性をもつ学問領域を重要視している。なおかつ、学際性も保証すべく、そのような学問領域を越えた履修コースを設置して、学生の要望に柔軟に対応できるように工夫が施されている。

ひるがえって、香川大学ではどうであろうか。現在、香川大学教育学部人間発達環境課程には、発達臨床、人間環境教育、国際理解教育の3コースが設置されている。課程全体として、人間の生涯に



わたる発達と環境に関わる様々な問題を総合的にとらえ、国際化、高齢化、さらに生涯学習社会を支えることのできる人材を養成することを目的としている。その中でそれぞれのコースは、独自の目標をもっている。発達臨床コースは、高度に複雑化した現代社会における人間関係上の問題や少子・高齢化社会への対応など、人間の生涯にわたるさまざまな課題を臨床心理や福祉の観点から研究し、臨床的援助能力に富む人材を養成することを、人間環境教育コースは、人と人を取りまく環境（自然・社会・芸術・歴史）との関わりを、生涯学習という観点から研究し、人と人、人と自然が共生する社会システムの実現を目指して、豊かな教育環境をデザインできる人材を養成することを、そして国際理解教育コースは、多文化共生にかかわるさまざまな課題を国際理解という観点から研究し、国際理解を深めるための実践的教育を行う能力を持った人材を養成することを目的としている。

ここで、その専門性が問題となる。発達臨床コースには、臨床心理学といったコースの中心となる学問領域がある一方で、人間環境教育コースと国際理解教育コースでは、そのような領域の存在が曖昧となっている。以下、後者の国際理解教育コースを取り上げて論じることとする。その核となる「国際理解教育学」は、学会組織もあるもののその歴史も浅く、コース担当者の中にも国際理解教育学を専門とする者はいない。実際には、英米文学、日本語学・日本語教育学、地理学といった分野の専門家が集まって国際理解教育コースを担当している。もちろん、国際理解教育コースを担当するからには、国際理解教育の基礎知識を蓄え、それを教授することが当然のこととして求められる。一方で、それぞれの教員は、上記のような専門領域をもっており、それに関連した講義、演習も担当している。そこで、コースのカリキュラムの中で、英文学、日本語学、地理学といった専門領域を学生の「専攻」として認知し、それを卒業証書に反映することが求められる。しかし、コース内のみでは、学生の専門性を高めることが困難な場合もあろう。その場合は、他コース、他課程、さらには他学部に関連授業を柔軟に取り入れることによってこの問題は解決できると考える。実際、教員免許を取得するための教科ごとの授業群は、コース、課程を横断するように設定されている。この仕組みを応用すればよい。

上記のような専門性の強化によって、学生は、例えば国際理解教育コースにおいて国際理解教育について広く学ぶとともに、日本語学を専攻したことを公的に表明できるようなる。また、学生自身の専攻についての認識もより明確なものとなろう。

### 【謝 辞】

本報告の現地調査に当たっては、レスター大学の多くの方々から、資料提供をはじめ、様々な面でお世話になった。ここに記して厚くお礼申し上げたい。

### 【参考文献・資料】

- Dept. of Geography, Univ. of Leicester (2003) *Geography course guide*, Univ. of Leicester  
Dept. of Geography, Univ. of Leicester (2003) *Guidebook of undergraduate studies*, Univ. of Leicester  
Dept. of Geography, Univ. of Leicester (2003) *Guidebook of graduate studies*, Univ. of Leicester  
香川大学教育学部 (2004) 『人間を探る、2004入学案内』、香川大学  
香川大学教育学部 (2005) 『履修の手引』、香川大学